

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表： 令和3年2月1日

事業所名 水戸市重症心身障害児(者)通園 あけぼの学園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標
環境・体制整備	①	利用定員指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか			○	サービス提供時間の調整	児童発達との時間の調整と職員配置の適正化
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		道具を使うことでバリアフリーに配慮	必要に応じてできる範囲で整備していきます。
業務改善	④	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務改善について職員から意見を聞いています。	その都度話し合いをして解決しています。広く職員が参画できる体制を検討します。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		個別面談等で保護者の意向を聞いています。	保護者の意向は把握しています。できる所から改善し支援に満足していただけるようにします。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後実施を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		資質の向上につながる内部伝達研修の実施	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		アセスメントは年2回実施しニーズに応じたサービス計画を作成	発達検査に基づくアセスメントを実施し、客観的分析に基づくサービス計画を作成できるよう努めます。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○		標準化されたアセスメントツールは試用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○			担任1名で行っており課題でもある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			動と静のプログラムを取り入れ工夫しています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には様々な体験ができるよう支援を設定	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもさんの状況に応じ個別・集団プログラムを組んでいます。	
	⑮	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			開始前に活動内容・支援の方法・役割分担について確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか		○			その都度できるときには振り返りを実施し共通理解をは図ります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとること徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録に記載して、改善につなげています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回モニタリングを実施しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっているか		○		音楽療法を取り入れています。	ガイドラインを見返し支援に反映させていきます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も		○			サービス担当者会議は実施されていない。今後の検討課題です。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携		さわしい者が参画しているか					
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)・連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			担任教諭と送迎時に情報交換・連絡調整を適切に行っています。	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		直接は行っていないが、母親をとおり行っている。	主治医との連絡体制が課題です。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、定子ども園、児童発達支援事業所等へ移る場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか	○			教育委員会に情報を提供しています。	
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか		○		学校卒業後移行した事例がありません。	相談支援専門員から情報提供の問い合わせはありません。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		発達障害者支援センター等とは連携の機会がない。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		交流の機会はない。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか			○	水戸市自立支援協議会子ども部会とは連携している。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳で子どもの状況を伝え合い共通理解を持っています。	保護者へのその日の様子伝達から発達状況や課題について共通認識を図ります。
保護者への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		ペアレントトレーニングは実施していません。今後の課題です。
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相応に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	保護者から相談があった時は相談支援を行っています。	更に適切な相談支援ができる体制を整えていきます。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者会は開催していない。保護者同士の連携支援は今後の課題です。
	㉜	子どもや保護者からの苦情につて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書で保護者に説明し適切に対応する体制をとっています。	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月予定表、園だよりを、毎月発行し活動や行事予定等を発信しています。	
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○			保管場所等に配慮しています。	
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			写真やイラストを使い情報伝達に工夫しています。	
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今年度はコロナ禍のため交流ができなかった。
非常時等の対応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		保護者に周知はできていない。周知を図っていきます。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防訓練・地震を想定した訓練を定期的実施	重症児のための非常食の工夫と備蓄が課題です。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年職員チェックリストを実施しています。	
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で	○			事前に保護者に説明し同意書を交わしています。個別支援計画書・ケース記録	

	放課後等デイサービス計画に記載してい			に記載しています。	
④2	食物アレルギーのある子どもについて、医 の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者から情報を受け指示 書に基づく対応をしています。	
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 有しているか	○		ヒヤリハット報告書を回覧し 共有しています。	